

府中市文化・スポーツ施設配置等適正化計画 (案)

府 中 市
令和 6 年 7 月

目次

第1章 計画の概要	1
1 背景	1
2 目的	1
3 体系図	2
4 計画期間	3
5 対象施設	4
6 計画の視点	8
第2章 関連計画との連携・整合	9
1 公共施設マネジメントのこれまでの取組	9
2 文化・スポーツ施設関連計画	14
第3章 施設の現状と課題	19
1 施設の状況	19
2 施設の現状分析	42
3 施設の将来像検討	46
4 施設ごとの現状と課題	60
第4章 基本的な考え方	79
1 施設の分類	79
2 施設における4つの観点と基本的な考え方	80
3 重点施策	81
4 施設の建て替え及び大規模改修時の考え方	83
第5章 施設ごとの取組	84
第6章 計画の推進に当たって	104
1 計画の見直し	104
2 計画の進捗管理	104
資料編	105

point

民間事業者の資金やノウハウを活用することで、本市の課題解決や更なる市民満足度向上が期待できる。

(4) 関係団体及び附属機関等との対話等

本市の文化・スポーツ施設に対する現状と課題を共有し、施設の在り方に関する方向性を検討するため、市内の文化・スポーツ施設を利用している団体や指定管理者として運営している団体など、施設に関係する団体や附属機関等と対話を重ねてきました。

ア 関係団体及び附属機関との意見交換会の実施（令和4年度）

(ア) 取組概要

運営団体や利用団体の視点から見た最新の課題などを把握するとともに、課題解決に向けて考えられる方向性の選択肢を整理することを目的として、関係団体及び附属機関等との意見交換会を実施しました。

意見交換会を実施した関係団体及び附属機関等は次のとおりです。

【図表4-4 意見交換会を実施した関係団体及び附属機関等】

関係団体及び附属機関の名称	主な関連施設
府中市芸術文化協会	市民会館、府中の森芸術劇場、生涯学習センター、郷土の森博物館、美術館など
府中文化振興財団	府中の森芸術劇場
府中市生涯学習審議会	生涯学習センター
府中市生涯学習ボランティア「悠学の会」	生涯学習センター
府中市文化財保護審議会	郷土の森博物館、ふるさと府中歴史館
府中市郷土の森博物館運営グループ	郷土の森博物館
府中市体育協会	スポーツ施設
府中市スポーツ推進委員会	スポーツ施設
各地域体育館運営協議会	地域体育館（日吉体育館を含む6館）
府中市図書館協議会	中央図書館及び地区図書館
府中市美術館運営協議会	美術館

(イ) 取組結果

本市の文化・スポーツ施設の全体的な方向性として、施設の配置をおおむね維持しつつ、施設機能や空間の強化及び改善が求められていることが確認できました。なお、運営面については改善すべき点のほか、改善における留意点等の意見が得ら

れました。

施設の配置については、おおむね現状の位置が適切であるとの意見が多数あり、地区図書館や地域体育館などの身近な施設は、今後も現状の配置を維持していくべきであるとの意見がありました。一方で、交通手段の整備によるアクセス性の向上や、市内全域で利用される施設はより利便性が良い場所への移転を求める意見が得られました。

施設の機能については、既存機能の維持・強化や設備更新を求める意見が多くあり、学校施設などの活用を通じた市民サービスの拡充を期待する意見もありました。さらに、既存機能に加えて、防災機能や利用者サービスの向上に資する機能の拡充、バリアフリー化への更なる対応、不足設備の整備、新たな市民ニーズへの対応を求める意見も得られました。

施設の空間については、シンプルかつ利用者目線で利用しやすい空間とすべきであるという意見がありました。また、多様な目的での利用を可能とするため、フレキシブルに対応できる空間を重視する意見も得られました。

施設の運営については、今後の財政負担を考慮して、施設使用料の見直しを図ることや利用状況の可視化を求める意見がありました。なお、民間活力の導入については、現状の運営体制における専門性の尊重や、施設使用料の高騰防止などの観点から、慎重に検討するべきとの意見も得られました。

【図表 4 5 関係団体及び附属機関等からの主な意見】

配置	・交通手段の整備によるアクセス性の向上 ・市内全域で利用される施設はより利便性が良い場所に移転
機能・空間	・学校施設などとの連携を通じて市民サービスの拡充 ・防災機能や利用者サービスに資する機能の拡充、バリアフリー化への更なる対応
運営	・利用状況の可視化 ・民間活力の導入は現状の運営体制における専門性を尊重 ・施設使用料の見直し、高騰防止

point

利便性の良い配置、既存機能に加えて新たな市民ニーズへの対応、柔軟に利用できる多目的空間としていくことが求められている。

イ 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会からの意見聴取（令和5年度）

（ア） 取組概要

府中駅周辺に設置している中央文化センター、保健センター、ふれあい会館及び府中駅北第2庁舎の4施設を対象に、老朽化に伴う施設の更新に合わせて、効率的な施設の更新や資産の有効活用に関する一体的な検討が府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会で行いました。また、本市が生涯学習センターの学習機能を交通利便性の良い府中駅周辺へ移転することを検討している旨を報告しました。

（イ） 取組結果

当該協議会では、本市の公共施設全体を取り巻く課題と、その解決を目指す公共施設マネジメントの取組を前提に、第三者の立場から検討を行い、対象の施設が抱える共通の課題は、利用者のニーズに応じた必要な機能の精査、貸館及び執務室の規模の適正化、老朽化の進行に伴い増加する施設管理費の負担軽減であると整理されました。その上で、施設の複合化や、効果的な活用として転用等の可能性を検討しました。

協議の結果、中央文化センター、保健センター及びふれあい会館の3施設を複合化し、ふれあい会館跡地を民間活用する方向性となりました。また、府中駅北第2庁舎については、行政としての活用を継続し、余剰スペースを民間事業者等へ一部貸付けをする方向性となりました。

また、生涯学習センターの学習機能は、中央文化センターとの機能重複が見られることから、府中駅周辺への移転を検討する際には、地域として機能の重複が生じないように配慮して対象施設の方向性を検討する必要があるとの課題が示されました。

point

公共施設の移転を検討する際には、地域として機能の重複が生じないように配慮して施設の方向性を検討することが求められている。

ウ 府中市生涯学習審議会中間答申（令和5年度）

（ア） 取組概要

府中市生涯学習審議会では、生涯学習の拠点である生涯学習センターについて、施設・設備の老朽化が大きな課題となっていること、また、近年の急激な社会環境の変化やニーズの多様化等を踏まえ、これからの生涯学習の拠点として求められる機

能について審議を行い、主にハード面についての提言を中間答申としてまとめました。

(イ) 取組結果

当該審議会では、今後20～30年後の社会において、「国際化」と「多様化」の加速やIT（情報技術）の進展のほか、少子高齢化や単身世帯の増加に伴い、地域コミュニティの力が更に減少することへの対応が課題として挙げられました。また、施設を利用する社会教育団体が減少傾向にあることへの対策や、学校を含む多様な施設との連携強化、主体的学習者としての市民ニーズに応えるためのサポート体制の充実、地域の拠点である文化センターと市全体の拠点である生涯学習センターとの連携強化などが課題として挙げられました。

これらの課題を踏まえて、これからの本市における生涯学習の拠点として求める役割と機能は次のとおり整理されました。

- (1) 多様な市民が気軽に訪れることができ、学習の楽しさを実感できる
 - バリアフリー、ジェンダーフリー、多言語化、開館時間の工夫、AI の活用、アクセス、デジタルシームレス※、施設内の明るさ、入りやすい雰囲気演出等
- (2) 多様な市民が自由に使える
 - 活用度の高いスペースを利用者が自由にレイアウトを変えことができ、多目的に使うことができる部屋を設け、多様な学習ニーズに対応できる。
- (3) 学びたいと思った市民が気軽に集い、相談できる
 - 気軽に集えるカフェ等の設置、相談室機能、施設内だけでなく外に向けたデジタルサイネージの活用など
- (4) 市民の自主的な学習活動を促進するファシリテーション機能
 - 図書館司書や社会教育主事等、生涯学習を支える人々の更なる活躍
- (5) 学習サービスの DX を進め先進的 IT・AI を活用できる
 - Wi-Fi 環境の整備、パソコンや配信機器などの貸出し
- (6) 多様な世代が交流し学びあえる
 - 学校教育と社会教育さらには社会福祉の連携
- (7) 地域にある多様な組織・グループの連携を支援し、活動の相乗効果を促進する
 - 市内の多様なグループや団体の情報提供や交流の促進
- (8) 府中市に根付く文化・スポーツ活動(音楽・演劇・ダンス・美術・工芸・映像等)を支援し創造性を促進するような充実した施設とその利活用の促進(生涯学習拠点以外での提供でも可)
 - 工房や版画室など創作系の活動や、小ホールやレクリエーションルームなどの音楽、舞台発表系の活動に対応できる諸室等
- (9) 環境への配慮や、災害時に対応できる
 - エコシステムの導入や避難所としての備品の用意等

※ デジタルシームレスとは、「リアル」と「デジタル」の境界を無くし、時間・場所にとらわれることなく、申請・参加・体験等の活動ができるような環境を目指すことである。

出典：令和5年度府中市生涯学習審議会中間答申

point

生涯学習の拠点として、多様な市民の多様なニーズに対応する機能が求められるとともに、地域の人々のつながりを促進する施設であることが求められている。

(9) 生涯学習センター



【経過年数】 32年



【主な課題】



現状

【配置】

- ・府中基地跡地に位置している。
- ・地区図書館（生涯学習センター図書館）が併設されている。

【量】

- ・延床面積：20,383㎡
- ・地下1階、地上4階建て

【機能・空間】

- ・学習施設（講堂、研修室、パソコン学習室、語学室、和室、工房、音楽室、スタジオ、小ホール等）、体育施設（体育室、温水プール、トレーニング室）、宿泊施設等がある。
- ・宿泊施設は、宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針において、機能転換を図ることとしている。
- ・音楽室、スタジオ、小ホール、体育室、温水プール、研修室の稼働率は高い。

【運営】

- ・平成25年度から指定管理者制度を導入している。

課題

- ・最寄り駅である東府中駅から距離があるため、交通利便性の向上や配置の見直しが求められている。
- ・総合体育館の府中基地跡地留保地への移転に伴い、総合体育館と重複する機能（体育室、トレーニング室、会議室など）の在り方を検討する必要がある。
- ・講堂、和室、創作系諸室の稼働率は低く、利用者の高齢化が影響していると考えられる。
- ・パソコン学習室や語学室は、オンライン講座などの民間機能の充実によりニーズが低くなっているほか、最新のデジタル環境への対応が求められている。
- ・講堂、工房、小ホールなどは、定員の半分以下で利用されているケースが多い。

(1) 総合体育館

- 総合体育館は府中基地跡地留保地に移転することとしているため、当該地に隣接する生涯学習センターの体育機能を統合して整備します。
- 移転後の跡地については、引き続きスポーツ拠点としての機能を担うため、民間事業者による整備・運営も視野に入れて活用方法を検討します。また、郷土の森エリア内のスポーツ施設の管理機能は総合体育館が担っているため、移転後は市民総合プールの建て替え等の時期に合わせて、管理棟等の整備を検討します。

(2) 生涯学習センター

- 体育機能は、総合体育館に統合します。
- 学習機能は、交通利便性の高い中心市街地に移転し、類似機能が多い中央文化センターの建て替えに合わせて、機能連携・統合します。
- 宿泊機能は、宿泊機能・サービスの今後の在り方に係る基本方針に基づき廃止します。
- 各機能の分散移転等に伴い、既存の建物は解体することとします。また、適正な施設配置の観点から、当該施設の跡地と、隣接する府中基地跡地留保地とを併せて、一体的に総合体育館を整備します。
- 併設している生涯学習センター図書館は、地区図書館の中では貸出者数や貸出点数等が多いことなどを踏まえ、当該地区内に存置し、総合体育館と複合化して整備します。

(3) ふるさと府中歴史館

- 府中駅周辺公共施設の再編に係る基本方針などにおいて、事務室及び宮町図書館は新庁舎に移転し、国府資料展示室は新庁舎及び国史跡武蔵国府跡（国司館地区）に分散して移転することとしています。
- 公文書史料室及び公文書史料展示室については、中心市街地に位置する中央図書館に移転し、公文書館機能と図書館との一体的運用を行います。なお、資料庫については、民間倉庫の活用を図ります。
- 移転後は、当該地が国史跡に指定されていることに留意し、施設の処分を検討します。

【方向性】

学習機能は中央文化センター周辺エリアに移転し、機能連携及び統合するとともに、体育機能は総合体育館と統合し、既存建物は解体します。

【重視するポイント】



【具体的な取組内容】

観点	取組内容
配置	- 学習機能は交通利便性の高い中央文化センター周辺エリアに移転し、機能連携及び統合します。 - 体育機能は府中基地跡地留保地周辺エリアに移転する総合体育館と統合します。
量	- 宿泊機能は廃止します。 - 学習機能は、機能統合の際に、文化センターや学校施設などの施設に分散を検討するとともに、各機能の役割などを整理し、規模の適正化を図ります。
機能・空間	- より長く生涯学習に関わるべき若い世代向けに、学びのコミュニティの形成を活性化するデジタルコミュニケーションの取り入れなど、最新のデジタル環境への対応などを検討します。 - 体育機能は、機能統合の際に、市内でも民間事業者で多く提供しているトレーニング室や、隣接する調布市内で東京都が提供している温水プールの状況を踏まえ、在り方を検討します。
運営	学習機能及び体育機能は、機能統合の際に、最適な運営手法を検討します。

【取組スケジュール】

年度	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15	R16	R17	R18	R19
取組内容	【体育機能】総合体育館との機能統合に向けた取組							新築	供用開始					
	【学習機能】中央文化センターとの機能連携・統合に向けた取組				第二庁舎への仮移転		新築		供用開始					
				【既存建物】解体に向けた取組		解体								
R20	R21	R22	R23	R24	R25	R26	R27	R28	R29	R30	R31	R32	R33	R34